

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	全国健康保険協会事務費負担金			担当部局庁	保険局		作成責任者			
事業開始年度	平成20年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	保険課全国健康保険協会管理室		後藤 健三			
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法第151条、船員保険法第112条第2項			関係する計画、通知等	全国健康保険協会保険給付費等国庫補助(負担)金交付要綱 (平成25年4月1日厚生労働省発保0401第2号)					
主要政策・施策				主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	健康保険事業及び船員保険事業の事務の執行に要する費用を負担することにより、全国健康保険協会の円滑な事業運営に資する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①全国健康保険協会の健康保険事業の事務の執行に要する費用の負担金 ・全国健康保険協会の認可予算額(健康保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担 ②全国健康保険協会の船員保険事業の事務の執行に要する費用の負担金 ・全国健康保険協会の認可予算額(船員保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担 ③退職手当引当金 ・旧社会保険庁から移行した職員の公務員期間に係る退職金相当額の引当金									
実施方法	負担									
予算額・執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	9,302	8,657	8,472	7,928	7,928			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		9,302	8,657	8,472	7,928	7,928			
	執行額		9,302	8,657	8,472					
	執行率(%)		100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
	事務費(実績)に対する事務費負担金を前年度の成果実績以下とする。		事務費(実績)に対する事務費負担金の割合		成果実績	%	39	30.6	20.4	
					目標値	%	42.9	39	30.6	20.4
					達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	事務費の執行率(対予算)			活動実績	%	80.3	75.7	89.3		
				当初見込み	%	100	100	100	100	
単位当たりコスト	算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	事務費負担金/被保険者数(年度末) X:事務費負担金 Y:被保険者数(年度末)			単位当たりコスト	円	468	426	405	-	
				計算式	X/Y	事務費負担金(9,302百万円)/被保険者数(19,871千人)	事務費負担金(8,657百万円)/被保険者数(20,303千人)	事務費負担金8,472百万円/被保険者数20,902千人)		
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	全国健康保険協会事務費負担金		7,928	7,928	全国健康保険協会の円滑な事業運営を図るため、前年度同額の要求とした。					
計		7,928	7,928							

事業所管部局による点検・改善						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	健康保険事業及び船員保険事業の円滑な事業運営のための健康保険法及び船員保険法に定める負担金であり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	被用者保険のセーフティネットである協会けんぽの円滑な事業運営のための負担金であり、国が責任を持って実施すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	眷顧保険事業及び船員保険事業の事業運営のための健康保険法及び船員保険法に定める負担金であり、被用者保険のセーフティネットである協会けんぽの円滑な事業運営のための優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	毎年度、単位当たりのコストが削減されている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	全国健康保険協会の円滑な運営を図るため、人件費や消耗品費等の事務費に充てられている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	毎年度、協会の事務費に対する事務費負担金の割合が縮減されており、評価できる。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	予算の範囲内で執行されている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	事務費負担金の交付先である全国健康保険協会においては、コスト削減の取組等により、毎年、前年の水準を下回ることを目標に一般事務経費の削減を行っている。それに合わせ、事務費負担金についても、毎年削減を行っている。				
	改善の方向性	今後も引き続き競争入札や消耗品等の本部一括発注を行い、経費の節減に努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き、必要な予算額の確保及び適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	255	平成23年度	227	平成24年度	194	
平成25年度	227	平成26年度	239			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※端数処理の関係で、「予算額・執行額」欄の数値と一致していない。

健康保険事業事務費負担金

厚生労働省
7,273百万円

全国健康保険協会の認可予算額(健康保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担

{ 負担金 }

退職手当引当金(健康保険分)

厚生労働省
1,000百万円

旧社会保険庁から移行した職員の公務員期間に係る退職金相当額の引当金

A.全国健康保険協会
(健康保険勘定) 8,273百万円

全国健康保険協会の健康保険事業の事務の執行に要する費用に充てている。(人件費・一般事務経費・委託費等)

船員保険事業事務費負担金

厚生労働省
175百万円

全国健康保険協会の認可予算額(船員保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担

{ 負担金 }

退職手当引当金(船員保険分)

厚生労働省
25百万円

旧社会保険庁から移行した職員の公務員期間に係る退職金相当額の引当金

B.全国健康保険協会
(船員保険勘定) 200百万円

全国健康保険協会の船員保険事業の事務の執行に要する費用に充てている。(人件費・一般事務経費・委託費等)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.全国健康保険協会（健康保険勘定）			E.		
費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
人件費	協会の役員、職員等に係る給与等	7,273			
一般事務経費	リース費用（ハードウェア・ソフトウェア等）等				
委託費	システム保守等				
退職手当引当金	平成20年10月に旧社会保険庁から採用された職員に係る公務員時代の退職金相当額の引当金	1,000			
計		8,273	計		0
B.全国健康保険協会（船員保険勘定）			F.		
費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
人件費	協会の役員、職員等に係る給与等	175			
一般事務経費	リース費用（ハードウェア・ソフトウェア等）等				
委託費	システム保守等				
退職手当引当金	平成20年10月に旧社会保険庁から採用された職員に係る公務員時代の退職金相当額の引当金	25			
計		200	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 （百万円）	費 目	使 途	金 額 （百万円）
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国健康保険協会(健康保険勘定)	全国健康保険協会管掌健康保険事業を行う	8,273	－	－
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国健康保険協会(船員保険勘定)	船員保険事業を行う	200	－	－
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					